

第35回島根地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

1. 日 時

令和5年5月12日（金）10:00～11:00

2. 場 所

島根県オフサイトセンター ※テレビ会議併用

3. 出席者

- (1) 国 : 内閣府、原子力規制庁、経済産業省、国土交通省、海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊
- (2) 関係自治体等 : 島根県、鳥取県、島根県警察本部、鳥取県警察本部、
- (3) オブザーバー : 松江市、松江市消防本部、出雲市、安来市、雲南市、米子市、境港市、松江刑務所、松江少年鑑別所、西日本高速道路株式会社、中国電力株式会社
- (4) 庶務 : 内閣府 橘推進官、藪本専門官、岡本専門官、奥山主査、岡村担当官

4. 議 題

- (1) 令和4年度 原子力防災訓練について
- (2) 令和4年度 原子力防災に関する取組について
- (3) その他

5. 配布資料

- ・資料1-1 令和4年度島根県原子力防災訓練実施結果の概要
- ・資料1-2 令和4年度鳥取県原子力防災訓練実施結果の概要
- ・資料2-1 令和4年度島根県における原子力防災に関する取組結果の概要
- ・資料2-2 令和4年度鳥取県における原子力防災に関する取組結果の概要

6. 概 要

- (1) 令和4年度 原子力防災訓練について
 - 令和4年度原子力防災訓練について、島根県から資料1-1に基づき、鳥取県から資料1-2に基づき、訓練実施結果の概要について説明を行った。
 - 各県からは、初動対応訓練の実施や、数年ぶりの住民参加となった避難訓練において初めて自家用車を使用した訓練の実施について、状況報告があった。

○各県からの説明後、内閣府から、今年度はどのような項目について訓練実施予定なのか質問を行い、これに対して、各県から、広報の充実化や原子力防災支援基地の活用などについて訓練実施予定との回答があった。

(2) 令和4年度 原子力防災に関する取組について

○令和4年度の原子力防災に関する取組について、島根県から資料2-1に基づき、鳥取県から資料2-2に基づき、取組結果の概要について説明を行った。

○各県からは、島根県、鳥取県及び中国電力株式会社の3者による原子力防災に関する協力協定の締結、地区別避難計画パンフレットの作成及び配布や原子力防災支援基地の整備等について、状況報告があった。

○各県からの説明後、内閣府から、住民の理解促進への取組に関する質問を行い、これに対して、各県から、講演会・研修会の充実やSNS・情報提供番組等の活用を行っている旨回答があった。

(3) その他

○内閣府から、前回の作業部会以降における防災基本計画及び原子力災害対策指針の改定内容等について報告した。また、今後も作業部会などを通じ、情報共有する旨を連絡した。

○内閣府から、作業部会の開催趣旨について改めて説明するとともに、PDCAサイクルの観点から、訓練で得られた教訓事項などを基に緊急時対応改定の案件があった場合には作業部会で議論することを確認した。また、緊急時対応の改定や新たな取組を必要とする案件があった場合には作業部会で議論して対応し、年に1回から2回程度開催することを確認した。

○内閣府から、作業部会における議論の透明性確保の観点より、作業部会に関係する地方公共団体が作業部会と同様の構成員による意見交換等の実施を希望する場合には、作業部会として対応することについて説明した。

以 上